

小池まさあき

事務所 成田市東町 155-3 TEL 0476-22-0688 FAX 0476-36-8538
E-mail koike@ngy.3web.ne.jp

プロフィール

<生年月日> 昭和 41 年(1966 年)9 月 18 日 <血液型>O 型 <趣味>スキー
<経歴> 三里塚小一遠山中一千葉日大一高一日大理工学部一日大大学院理工学研究科
平成 7 年成田市議会議員当選 以後 4 期当選 第 34 代成田市議会議長等を歴任
<現在> 県議会 県土整備常任委員会委員長 ちば自民党青年局 政策交流委員長



エボラ出血熱感染拡大に思う 空港所在都市として医療機関の充実を！

エボラウイルスによる急性熱性疾患（エボラ出血熱）が昨年 12 月頃から西アフリカで流行を始め、今年 6 月頃から感染が急激に拡大してその脅威が世界的に広がっています。国境を越えた人々の移動が盛んな現在、また日本においても外国人観光客の増大が進む中、感染症対策はしっかりと取り組まなければならない課題です。特に千葉県は、成田国際空港という海外との玄関口を持つということで、まずは水際対策として空港での検疫強化が図られているところです。

しかし、エボラウイルスの最大潜伏期間が 21 日であること、実際に西アフリカ地域から帰国した男性が発熱した際に一般の医療機関で受診してしまった自体も発生したことなどから、空港や港における水際対策だけでは限界があるとも言えます。

現在日本国内には、エボラ出血熱を含む 1 類感染症と 2 類感染症に対応した第 1 種感染症指定医療機関が 4 5 箇所あり、県内では成田赤十字病院が指定されています。また、成田赤十字病院は、厚生労働大臣が指定する新感染症への対応を行う国内 3 医療機関の一つでもあります。

指定医療機関では訓練の実施、手順の確認などが徹底されていますが、特定感染症指定医療機関は 3 医療機関で合計 8 床のみ、第 1 種感染症指定

医療機関は 45 医療機関で 86 床、しかも、これらは各都道府県に分散していて、必ずしもウイルスの玄関口となる国際空港の近くに重点的に配置されてはいません。

全国的にも成田赤十字病院が重要な位置づけとなっていることはご理解いただけたと思いますが、今後も国際的な人・モノの交流をより一層拡大させる必要性もあることから、国際空港の地元として成田地域における感染症対策とその治療をしっかりと行える医療体制の充実を図っていく必要があると考えています。

エボラ出血熱の特徴

【潜伏期間】 2~21 日

【症状】 突然の発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、咽頭痛を呈し、嘔吐、下痢、内臓機能の低下、さらに進行すると身体の様々な部分から出血（吐血、下血）等の症状が出現し、多くが死に至る。

【予防法・治療法】 ワクチンは存在しない。特別な治療法は存在せず、対処療法のみ。流行地域へ立ち入らないことが重要。患者に直接触れること、動物の死体への接近・接触は避ける。

特定感染症指定医療機関：3医療機関(8床)

病院名	病床数	所在地
成田赤十字病院	2床	千葉県
国立国際医療研究センター病院	4床	東京都
りんくう総合医療センター	2床	大阪府

第一種感染症指定医療機関：45医療機関

病院名	病床数	所在地
成田赤十字病院	1床	千葉県
JAとりで総合医療センター	2床	茨城県
自治医科大学附属病院	1床	栃木県
群馬大学医学部附属病院	2床	群馬県
埼玉医科大学病院	2床	埼玉県
都立墨東病院	2床	東京都
都立駒込病院	2床	東京都
東京都保健医療公社荏原病院	2床	東京都
横浜市立市民病院	2床	神奈川県
他 全国各医療機関	70床	

産科医不足 千葉県は現状・将来ともに深刻 若手少なく改善困難

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会がまとめた調査によると、全国で分娩を扱う産科医は今年3月の時点で9,702人。人口10万人当たり全国平均は7.6人で、最も少ないのが茨城県の4.8人、最多は東京と沖縄の11.1人でした。医師1人が1年間に扱う分娩も茨城で158件、最も少ない東京が66件とその差は2倍以上となっています。

この調査において、若手医師の数など各都道府県を評価したところ、千葉、福島、岐阜、和歌山、広島、山口、香川、熊本、大分の9県は、現状と将来についての項目でいずれも厳しい状況との判断でした。

今後産科医の数は増えるものの、東京や茨城、兵庫をはじめとする都市部に集中し、対策を講じなければ現状の産科医の偏在が続き、医師不足の地域では過重労働もさらに深刻になると予想されています。

医師・看護師不足による医療サービスの低下が問題視され続けていますが、少子高齢化、人口減少時代へ突入している中で特に千葉県の産科医不足への対応もしっかりと行っていかなければなりません。

都道府県	産科医数	10万人当たり産科医数	医師1人当たり分娩数	現状評価	将来評価
千葉	376	6.0	118	◆	▼
福島	99	5.0	155	◆	▼
茨城	143	4.8	158		
栃木	165	8.2	100		▼
群馬	135	6.7	119	◆	
埼玉	383	5.3	139	◆	
東京	1454	11.1	66		
神奈川	624	6.9	102		▼
岐阜	138	6.6	129	◆	▼
愛知	621	8.3	103		
京都	227	8.8	90		▼
大阪	784	8.8	90		
兵庫	377	6.7	119		
和歌山	70	6.9	116	◆	▼
宮崎	104	9.1	110		
鹿児島	138	8.1	108		
沖縄	160	11.1	109		
全国	9,702	7.6	105		

◆現在厳しいと推測される自治体

▼今後厳しくなると予想される自治体

全国の廃校数 12年で5,801校 千葉県内でも100校

文部科学省の調査によると、平成14年度から平成25年度までの12年間に、全国の小中高校合わせて5,801校が廃校、千葉県でも同期間で100校が廃校となりました。

全国の廃校の活用状況を見ると、活用されているものが約70%に留まり、活用されていないもののうち取り壊しや用途が決まっているものは10%に満たず、廃校の20%が未活用で今後の用途も決まっていないということがわかりました。

成田市内でも廃校となった小・中学校の跡地の問題がありますが、地域を交えた議論を進展させる必要性があると考えています。因みに、成田市内の廃校数は、小学校7校、中学校1校で、大栄地区の小学校5校も小中一貫校として整備する方針により平成32年度頃には廃校となる見通しです。

アベノミクス解散 投票日は12月14日 必ず投票を！

去る11月21日、衆議院が解散し第47回衆議院議員総選挙が12月2日に公示され12月14日に投票、即日開票されます。そして安倍総理は自ら今回の解散を「アベノミクス解散」と命名しました。

有権者の中には、「なぜこの時期に」との疑問を呈する意見や、「選挙に要する費用が無駄」という声があることも承知していますが、日本のこれからを決めるこの国で最も重要な選挙と言えます。

投票率の低下も懸念されていますが、国民としての権利を行使して政治に直接参加していただきますようお願い申し上げます。因みに、成田市では期日前投票を商業施設でも行う準備をしています。

ごあいさつ

11月26日、県議会12月定例議会が開会しました。衆議院選挙を間近に控えて慌しさも感じているのが正直な気持ちです。自民党に所属する議員として連立与党の勝利に向けてしっかりと運動しなければなりません。県議会に議席をいただいている責任もしっかりと果たせるように変わらずに活動させていただきます。

千葉県議会議員 小池正昭